

「開倫塾12の躰(しつけ)プログラム」で学習習慣を身に着けよう

開倫塾

塾長 林明夫

はじめに

1. 開倫塾は、1979年の創立以来、「躰(しつけ)教育」を通して、塾生の皆様の「学習習慣」の育成を行っております。
2. 毎月1つの目標がありますが、すべての目標にどんどん挑戦してください。

3月 「次学年の予習をして、新学年に臨もう」

- (1) 新学年の各教科の成績は、新学年の授業開始までにどれだけ予習をしたかで決まります。予習に遠慮は一切不要です。
- (2) 学校の教科書を手にしたら、1冊でも多く全ページ読み終え、4月からの授業に臨むこと。



4月 「靴(くつ)は手でそろえよう」

- (1) 家庭でも、学校でも、開倫塾でも、自分でぬいだ靴はぬぎ放しにしないで手でそろえる。手でそろえて、ゲタ箱や靴入れにきれいにすること。
- (2) 自分の足元をよく見る。注意深く生活し、交通事故や事件・事故に巻き込まれないようにしましょう。「注意一秒、ケガ一生」です。



5月 「5S(ごえす)を身に着けよう」

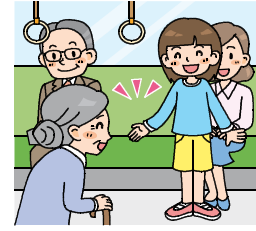
- (1) ローマ字で書くとS(エス)で始まる大切なことを、「5S(ごえす)」と呼びます。
- (2) 「5S」とは、
 - ①「整理 seiri … 要らないものは捨てる」
 - ②「清掃 seisou … きれいに掃除(そうじ)をする」
 - ③「整頓 seiton … ものはいつもの同じところに置く」
 - ④「清潔 seiketsu … ①～③を継続する」
 - ⑤「躰 shitsuke … 自分から進んで行く」



- (3) 筆入れの中・カバンの中・机の上・机の中・自分で使っているタンスの引き出しやロッカーの中などからスタート、少しずつでも「5S」にチャレンジを。「わすれもの」や「ものを捜す時間」が少なくなると同時に、筆入れの中・カバンの中・机の上などがスッキリしますよ。

6月 「美しい立居振舞いを身に着けよう」

- (1) 「エチケット」は美しい立居振舞いの第一歩。
「お先にどうぞ(After you)」、「重たいものはもってあげる」、
「席をゆずる」こと。
- (2) 「服装」にも気をつけること。



7月 「美しい言葉遣い(ことばづかい)を身に着けよう」

- (1) 敬語表現を含む美しい言葉遣いを身に着けましょう。
- (2) 相手の立場を尊重して、話は最後まで聴くこと。乱暴な言葉遣いは避けること。

8月 「元気なあいさつをしよう。あいさつはこちらからしよう」

- (1) 人間関係の基本はコミュニケーションです。
- (2) コミュニケーションの第一歩は「元気なあいさつ」。「あいさつは、こちらからすること」。



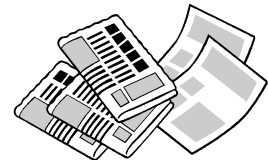
9月 「辞書を活用する習慣を身に着けよう」

- (1) 「ことばは力」「語彙(ごい)は力」。辞書を活用し、ことばの数を増やしましょう。
- (2) 1日10回、1か月で300回、1年で3000回、3年で1万回辞書を引こう。
* 「英語」などの外国語、「専門用語」も、1日10語ずつ身に着けましょう。



10月 「新聞を毎日読む習慣を身に着けよう」

- (1) 新聞で、「自分で考える力」「批判的思考能力」と「読解力」を身に着けよう。
- (2) 新聞を、毎日30分ずつ読みましょう。
- (3) 御家庭では、昨日の新聞をプレゼントしてあげてください。



11月 「読書の習慣を身に着けよう」

- (1) 読書によって得られるのは、「思慮深さ」と「文章を正確に読み解く力(読解力)」です。
- (2) 大切な本は、5回～6回と、何回も読みましょう。

12月 「勉強の仕方を身に着けよう」

「学習の3段階理論」を参考に「効果の上がる学習方法とは何か」を考え実行しよう。

1月 「長い時間、自己学習する能力を身に着けよう」

- (1) 1月は、すべての入試がスタートします。
- (2) 学年末試験と3大検定の準備も本格的にスタートすべき時期です。
- (3) これらの勉強には膨大な時間がかかりますので、「長い時間自分から進んで主体的に学ぶ力(自己学習能力)」を身に着けましょう。



2月 「感謝の心をもって勉強しよう」

自分が勉強することができるのは、皆様のお力のたまものと、感謝の心をもって勉強しましょう。